

南小だより

minamiurawa-e@saitama-city.ed.jp

平成30年1月9日

1月号

さいたま市立南浦和小学校

電話 048-861-3781



自然のエネルギー 子どものエネルギー

校長 笹原 秀之

明けましておめでとうございます

保護者・地域の皆様方には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、去年は本校の教育活動に対し、温かいご支援とご協力をいただきまして誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。



初詣に出かけた時、昼間でも寒い日でしたので、ポケットに手を入れながらうつむき加減に路地を歩いていたところ、ふと、梅の花のような甘い香りがして顔を上げました。そこには、青空の下に黄色い花がありました。蠟梅です。思わず立ち止まり、可憐な花を見つめ笑顔がこぼれました。何かうれしく思えたのです。微笑みかけられているようで。また、生命を感じました。日中のわずかな暖かさから開花のエネルギーをもらっているのだと心動かされました。1月のこの時期に、早くも春の訪れが近いことを感じさせてくれました。



自然のエネルギーは人智を超えるものです。私たちの感覚では及ばないところで次のステージへ始動しているのです。私は、子どもの中にも同様のエネルギーがあると思います。それは表面を見ただけでは分からないもの。しかし、分からないのは、私たち大人の感覚が研ぎ澄まされていないからかもしれません。実は、子どもが時々示す表情や行動の中に内在しているのです。日々の暮らしの中で、確かにエネルギーは蓄えられているのです。また、そう信じたいと思っています。

今年も、南小の子どもたちの生きるためのエネルギー（知・徳・体・コミュニケーション）を着実に増加させ、また、そこから様々なパワーを引出し、発することができるよう、教職員一同、全力を尽くしてまいります。

今年の自分の目標の1つを、「感動を忘れない（フレッシュな感覚）」にしました。我々は年を重ねるごとに様々な経験をして、日々の生活の変化にも動じなくなっていくのですが、逆に、自然や子どもなどのわずかな変化に疎くなってしまっています。生活を単調に感じてしまうのも、小さな変化や驚きでは何も感じず、または気づかず、見過ごしてしまっているからということもあると思います。時間がなく、気づかずに通り過ぎてしまうということもありますが、意識してよく見て、感じて、自らの感覚を通して物事を捉えるようにしたいと思います。

お子様の今年の目標を確認したり一緒に考えたりしたでしょうか。何を頑張ろうとしているのか、何を目指しているのか。だからどんなことをする時に力を貸してあげたらいいか。などが分かると、その変化を認めてあげることもできるようになります。子どものエネルギーの発揮する方向を、方法をアドバイスしてあげることができたら、自らの力でどんどん進んでいくことと思います。ご家庭でのお力添えをよろしくお願いいたします。今年も教職員一同、子どもたちが自己実現を図ることができるよう、一人ひとりを大切にしたい教育活動を進めてまいります。皆様の一層のご支援とご協力をお願いいたします。